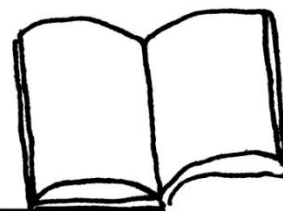




敬 和

R2.12.16 発行



11月27日実施された人権集会の感想の続きです。

2年生

平和学習への思いを発表。有志による上中太鼓の演奏がなされました。

1年生の発表には、とても共感しました。災害が起きたとき、障がいのある方が避難所にいたとき、今までの自分なら手を貸すこともせず、見て見ぬふりをしていたと思います。けど、今回の1年生の発表を聞いて、障がいのある方には、理解してくれる人がいるだけで、とても楽になると知ったので、僕が理解をして、それを他の人に伝えようと思いました。3年生はさすがだと思いました。一人一人が真剣に人権問題について考えていて、僕も来年にはあんな堂々と自分の考えを発表できるようになりたいと思いました。そのために今から人権についての勉強を頑張って、考えを深めようと思いました。人権集会ができてよかったです。

すごく緊張したけれど、自分の感想を伝えることができたと思います。2年生全員で、平和を誓うことができました。今回の発表を終えて、二度と戦争を起ささないこと、自分の命を大切にすることについて意志を固めることができました。1年生の発表を聞いて、防災について考えました。僕も、追い詰められたときでも、家族の命も守ることができる人になりたいと思いました。また、自然災害は、どうすることもできないわけでもないと思いました。僕も日頃からしっかり備えをしたいと思いました。3年生の人権宣言は、すごくかっこいいと思いました。一人一人が、これから自分はどうしたいかを発表していました。僕も来年、みんなの前で宣言して、実際に行動に移せるような人になりたいです。また、今日宣言したことも、しっかり胸に刻んでおきたいです。

人権集会を通して、これからも人権について考えを深めていきたいと思いました。人々の尊い命を奪う戦争、自分が発した言葉で相手を傷つけてしまうかもしれないこと、人種差別や部落差別。私たちが生きているこの世の中には、さまざまな人権問題があります。3年生の発表を聞き、自分がこれからどういう人になるかを考えたとき、差別という言葉が出てきました。人それぞれで、みんな違ってみんないいのに、それを差別にかえるのは、絶対にしてはいけないことです。私はさまざまな人権問題について、差別を絶対にしない人になります。これからもっと人権問題について理解し、戦争や差別のことを、私たちが伝えていかなければならないと思います。

今日の人権集会で感じたことは2つあった。1つ目は、自分の思いや意志を完璧に近い形で、みんなに発信できたことがとてもうれしかった。自分の発表はもちろん、平和の誓いも学年で一つになって言えたと思う。2つめは、やはり差別や人権問題は恐ろしく、偏見や誹謗中傷は人の命をも奪ってしまうということを改めて理解できた。災害などで、焦ったりピンチになったりすると自分のことで精一杯になり、他人のことなんて考えられなくなる。それは、しょうがないかもしれないけど、そのせいで他人を一層苦しめるのは違うと思った。「自分はそんな対応をしない」と思っているけど、想定外のことが起きてしまったとき、本当にそうできるのか。もしかしたらできないかもしれないと正直思ってしまった。どうすれば、差別や偏見、人権問題を減らすことができるのか。さらに考えていきたい。

短い練習期間だったので、前日まで心配でしたが、本番に強い2年生なので、大きな声が出て、太鼓も成功して、終わったときに達成感があふれてきました。どの発表も本当に良かったと思います。1年生の発表を聞いて、災害が起こったとき、自分の立場でどうするべきなのか、自分ならこの状況をたえられるのか、考えさせられました。3年生の発表を聞いて、みんなそれぞれ違った意見を言っていて、かっこいいなと思いました。「これで終わりではない、この先も人権について考えなければならない」という言葉に感動しました。来年で中学校最後の人権集会。今年の3年生を見習い、これからも学び続け、来年、私の思ったこと、考えたこと、これからどうして生きていくかを宣言したいと思いました。

全学年の発表を聞いて、改めて人権は大切だと感じました。学年ごとに内容は違いますが、一つだけ共通していることがあると思います。それは「命が大切」だということです。いじめや差別・偏見などで命を落とす人、戦争でどれだけ生きてくても命を落としてしまう人。過去の人を生き返らせるのは自分には無理だけど、「生きたい。楽しい生活がしたい。」と願っていた人のかわりに、どれだけしんどくても、その思いを自分が受け継いで、今を精一杯楽しみ、後悔しない生き方をしたいです。他にも、自分が軽い気持ちで発した言葉は、相手の受け取り方が違えば、傷つけてしまい、時には死に追い込んでしまいます。なので、これからは自分が発する言葉一つ一つに責任を持ち、行動したいです。一つしかない命を大切にしていきます。

正直、めちゃめちゃ緊張しました。太鼓でミスをしそうだったからです。練習でも、なかなかそろわなかったから、不安もありました。でも、本番はみんなで一一致団結して、堂々とできたと思います。僕は誰か個人が人権について考えればよいとは思いません。この学校の全員が真剣に考え、取り組むことに、大きな意味があると思います。それを自分の意見として、多人数の前で主張することにより、より一層、人権について意識できていると思います。1年生や3年生も全員が発言をすることで、改めて心に刻むことができ、責任を持てたと思います。最初、自分にたくさんの役割が当たると聞いて、少ししんどいなと思った瞬間もあったけど、それぞれ担当している人たちは、一つ一つにとっても真剣で、一生懸命練習していたのを見て、自分には全てやりとげる責任があると実感し、練習にはげむことができました。人権について、改めて考えるととてもいい機会になりました。

今まで平和学習をしてきて、人権集会で改めて気が引き締まりました。1年生、2年生、3年生の発表で、教室で勉強したことよりもさらに知ったこと、学んだことがありました。自分たちの発表では、平和の誓いをしました。全員が声をそろえて言った平和の誓いは、私にとって大きなものだと思います。放課後、何度も練習をしてきた上中太鼓は、最後の音がそろったとき、みんなの気持ちが1つになったようでした。自分たちの発表で胸がいっぱいになったけど、3年生、1年生の発表を聞いて、考えがさらに深まりました。今年は集会だけで、短い時間のように感じたけれど、考えや気持ちは大きなものだと思います。自分の意見を前に出て言ったり、太鼓をたたいたりすることは、緊張するし、勇気のいることです。でも全員の気持ちが伝わったのは、一人一人が今までの学習や人権集会に真剣に取り組んだからだだと思います。これで終わりではないので、これからも考えを深めていきたいです。

